

問1 江戸幕府は1825年に強硬な排外政策を打ち出しましたが、1840年に勃発したアヘン戦争の結果、清がイギリスに敗北したことを知ると、その方針を大きく転換しました。このとき、幕府が新たに取った対応として正しい説明はどれですか。（2020年 岐阜公立入試 類似）

1. 遭難した外国船に燃料や水、食料を与えて穏やかに退去させる「薪水給与令」を出した
2. 沿岸の警備をさらに強化し、全ての外国船を沈めるまで攻撃を続けるよう命じた
3. アメリカのペリー来航を機に、即座に幕府の独占的な貿易を廃止して自由貿易を開始した
4. 清の敗北を教訓に、オランダ以外のヨーロッパ諸国とも正式な国交を結ぶことを決定した

問2 大阪から紀伊半島の沖合（南海路）を経由して江戸へ物資を運ぶ航路では、多くの輸送船が活躍しました。主に醤油や酒などの生活物資を専門に運んだ輸送船の名称として正しいものはどれですか。（2019年 愛知公立入試 類似）

1. 樽廻船
2. 菱垣廻船
3. 北前船
4. 朱印船

問3 18世紀中頃には蒸気で走る自動車が発明されるなど、新たな動力を活用する試みが始まっていました。その後、ワットが蒸気機関を改良したことが社会に与えた影響について、その背景と経緯を説明した文として最も適切なものはどれか。（2019年 長野県公立入試 類似）

1. 蒸気機関の改良により、天候や場所に左右されない生産が可能となり、綿織物などの大量生産による生産力の増大をもたらした。
2. 蒸気機関が普及したことで、ルネサンス以来の伝統的な職人による手作業が再評価され、工場制手工業が主流となった。
3. 蒸気機関は主に軍事目的に限定して利用されたため、一般市民が消費する綿織物などの生産には電力が普及するまで大きな変化はなかった。
4. ワットによる蒸気機関の改良は、あくまで自動車などの輸送手段の発展に留まり、工業生産の仕組みそのものを変えるには至らなかった。

問4 江戸時代中期、老中の田沼意次が積極的に奨励したことで知られる商人の組織「株仲間」が、幕府に対して行ったことと、それによって得た権利の組み合わせとして最も適切な説明を選びなさい。（2023年 島根公立入試 類似）

1. 幕府に運上金や冥加金といった税を納める代わりに、商品の独占的な販売・営業権を得た。
2. 幕府の許可なく独自の市場を形成し、関所を通らずに自由に商売をする権利を得た。
3. 農村に原材料や道具を貸し付けて製品を作らせ、それらを安く買い叩いて独占的に販売する権利を得た。
4. 海外との貿易を独占的に行うため、長崎の出島を管理・運営する権利を得た。

問5 江戸時代中期、政治の安定と商業の発展を背景に、上方（京都・大阪）を中心に栄えた「元禄文化」について述べた文として、内容が正しいものはどれですか。（2025年 千葉公立入試 類似）

1. 経済力をつけた町人が文化の担い手となり、人形浄瑠璃や浮世草子、装飾性の高い絵画など、明るく人間味あふれる文化が発展した。
2. 江戸の町人を中心に、浮世絵の多色刷り（錦絵）や歌舞伎が全盛期を迎え、化政文化と呼ばれる新しい流行が全国に広まった。
3. 南蛮貿易の影響を強く受け、キリスト教の教義や鉄砲の伝来に伴うヨーロッパの科学技術が文化の中心となった。
4. 足利義政が東山に建てた銀閣に代表されるように、簡素で落ち着いた「わび・さび」の精神を重んじる文化が確立した。

問6 イギリスで発達した蒸気機関の技術は、交通手段にも大きな革新をもたらした。この動力技術を応用して実用化され、原料や製品の大量輸送を可能にしたものはどれか。（2017年 岡山公立入試 類似）

1. 蒸気機関車による鉄道
2. ガソリンエンジンによる自動車
3. 人力による荷車と運河の整備
4. 電気による地下鉄網

問7 江戸時代の元禄文化期において、町人の経済活動や恋愛などの日常生活をリアルに描き、「浮世草子」と呼ばれる新しい小説の形式を確立した人物は誰ですか。（2026年 大阪公立入試 類似）

1. 井原西鶴
2. 曲亭馬琴
3. 十返舎一九
4. 松尾芭蕉

問8 熊本市のように、現代の日本において県庁所在地となっている都市の多くは、江戸時代にある目的を持って形成された都市がもとになっています。このような都市の成り立ちについて述べた文として、最も適切なものはどれか。（2020年 熊本県公立入試 類似）

1. 大名が領地支配の拠点とするため、城の周辺に家臣や町人を住まわせて形成された。
2. 有力な寺院や神社の門前に、参拝客を相手にする商工業者が集まって形成された。
3. 交通の要所となる街道沿いに、旅人の宿泊や物資の運送を担う人々が住んで形成された。
4. 良好な港を持つ海岸沿いに、国内や海外との交易拠点として物資が集積して形成された。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 遭難した外国船に燃料や水、食料を与えて穏やかに退去させる「薪水給与令」を出した	アヘン戦争で大国・清がイギリスの軍事力に圧倒された事実は、江戸幕府に大きな衝撃を与えました。強力な武力を持つ外国船をむやみに攻撃して戦争になることを恐れた幕府は、1842年に従来の異国船打払令を廃止し、人道的な支援を行ってから穏便に帰国を促す薪水給与令（天保の薪水給与令）を出し、政策を緩和しました。
問2	<b>答え 1</b> 樽廻船	大阪と江戸を結ぶ定期船のうち、当初は綿、油、紙などを運ぶ菱垣廻船が主流でしたが、後に酒などをより速く効率的に運ぶために樽廻船が独立し、輸送の主力となりました。これらの船の往来によって、上方（上方）の物資が大量に江戸へ供給されました。
問3	<b>答え 1</b> 蒸気機関の改良により、天候や場所に左右されない生産が可能となり、綿織物などの大量生産による生産力の増大をもたらした。	ワットによる蒸気機関の改良は、従来の自然の力（水力など）に頼っていた生産活動を劇的に変えました。動力源を工場内に設置できるようになったことで、川沿いなどの立地制約から解放され、都市部などでの効率的な工業生産が可能になりました。この技術革新は綿織物工業における爆発的な生産力の増大を招き、社会構造そのものを変革する産業革命へとつながりました。
問4	<b>答え 1</b> 幕府に運上金や冥加金といった税を納める代わりに、商品の独占的な販売・営業権を得た。	田沼意次の政治では、商業の発展を利用して幕府の財政を立て直そうとする重商主義的な政策がとられました。株仲間を広く公認して「運上」や「冥加」という税を徴収する一方で、その見返りとして商人には商品の独占的な営業権を与えました。この仕組みは幕府の収入を増やしましたが、一方で独占による物価の高騰を招く原因にもなりました。
問5	<b>答え 1</b> 経済力をつけた町人が文化の担い手となり、人形浄瑠璃や浮世草子、装飾性の高い絵画など、明るく人間味あふれる文化が発展した。	元禄文化は、江戸時代中期の5代将軍徳川綱吉の頃、京都や大阪といった「上方」の豊かな町人たちが中心となって生み出されました。近松門左衛門の人形浄瑠璃や井原西鶴の浮世草子、松尾芭蕉の俳諧などが有名です。また、俵屋宗達の画風を引き継いだ尾形光琳らによる装飾画もこの時期に発展しました。選択肢にある「江戸中心」や「錦絵」は、後の化政文化（江戸時代後期）の特徴です。
問6	<b>答え 1</b> 蒸気機関車による鉄道	産業革命で生まれた蒸気機関の技術は、交通機関にも応用されました。ステューブソンらによって蒸気機関車が実用化されると、鉄道網が急速に整備され、重い石炭や鉄鋼、製品を遠方まで大量に運ぶことが可能になり、経済のさらなる発展を支えました。
問7	<b>答え 1</b> 井原西鶴	17世紀後半から18世紀初めにかけて、京都や大阪などの上方を中心に栄えた元禄文化を代表する作家です。それまでの空想的な物語とは異なり、町人の現実的な生き方を鋭く捉えた作品を多く残しました。選択肢にある曲亭馬琴や十返舎一九は、江戸を中心として19世紀に栄えた化政文化の時期に活躍した人物です。
問8	<b>答え 1</b> 大名が領地支配の拠点とするため、城の周辺に家臣や町人を住まわせて形成された。	江戸時代、大名は自らの領地を治めるための政治・軍事の拠点として城を築き、その周囲に家臣（武士）や商工業者（町人）を集めて住まわせました。これを城下町と呼びます。明治時代以降、多くの城下町は県庁所在地へと発展し、現代の日本の都市構造の基礎となりました。他の選択肢は、門前町、宿場町、港町の説明です。